

資料番号	4
------	---

令和3年12月17日
課名 総務局 研究開発課
担当者 総括官（研究開発）（兼）研究開発課長 今井
内線 2404
課名 農林水産局 畜産課
担当者 課長 吉川
内線 3603

広島和牛シンポジウム2022の開催について

「広島血統の強みを活かした改良の取組に向けて」

1 要旨・目的

広島血統を基軸とした改良の意識醸成を図り、広島和牛の産地全体の収益性を高め、強い生産構造の確立を目指して広島和牛シンポジウム2022を開催する。

2 現状・背景

広島和牛のブランド力の向上を図るため、広島和牛の歴史と伝統に加え、MUF Aなど新たな科学的裏付けを強みとした魅力の向上や生産体制を構築する必要がある。

※MUF Aは、エムユーエフエーと呼び、オレイン酸に代表される脂肪酸で、他の脂肪酸と違い、酸化されにくい特徴があります。また、融点が低い特徴を持っており、常温で液体です。牛肉の中でも和牛肉には多く含まれ脂肪中の50～60%がMUF Aで占められており、多汁性や口どけの良さや風味の移行などおいしさに関係しています。

3 概要

(1) 実施主体

広島県

(2) 実施期間（日時）

日時 令和4年1月17日（月） 13:30～15:50

(3) 場所

三次市民ホールきりり 大ホール（〒728-0021 三次市三次町111-1）

(4) 実施内容

時間	内容
13:30～13:40	【開会挨拶】 広島県農林水産局 局長
13:40～14:30	【基調講演】「和牛新時代 地域かがやく和牛力」 ～広島血統再構築の意義と可能性～ 公益社団法人全国和牛登録協会 会長理事 向井 文雄
14:30～14:50	【一般講演】「広島和牛の付加価値探求MUF A（エムユーエフエー）」 県立総合技術研究所畜産技術センター
14:50～15:10	【休憩・ポスター説明】 県立総合技術研究所畜産技術センター
15:10～15:20	【話題提供】「広島血統を活かした広島和牛生産」 広島県農林水産局畜産課
15:20～15:40	【総合討論】
15:40～15:50	【閉会挨拶】 広島県農林水産局畜産課 課長

4 その他

(1) 参集範囲

畜産経営者，畜産従事者，農業団体，学生，企業，行政機関など

(2) 協賛

J A全農ひろしま，一般社団法人広島県畜産協会，広島県畜産関係団体連絡協議会

広島和牛シンポジウム2022

～「広島血統の強みを活かした改良の取組に向けて」～

広島県は、和牛産地全体の収益性を高め、強い生産構造の構築を目指しています。今回、広島血統を基軸とした改良の意識醸成を図り、広島和牛の産地全体の収益性を高め、強い生産構造の確立を目指してこのシンポジウムを開催します。

➤ 基調講演

全国和牛登録協会
会長 向井 文雄

「和牛新時代 地域かがやく和牛力
～広島血統再構築の意義と可能性～」

広島血統和牛の取組の可能性と、これからの和牛生産における役割について、全国的な改良の視点から講演いただきます。

➤ 一般講演

広島県立総合技術研究所
畜産技術センター

「広島和牛の付加価値探求MUFA(エムユーエフイー)」
広島和牛の特徴と改良に関する研究成果から、広島和牛の将来展望を探ります。

➤ 話題提供

広島県農林水産局畜産課

「広島血統を活かした広島和牛生産」
歴史と伝統の裏付けとなる貴重な広島血統の重要性と県有種雄牛の利用促進を共有します。

主催 広島県

協賛 広島県畜産関係団体連絡協議会, JA全農ひろしま, (一社)広島県畜産協会

➤ 日時 令和4年 1月17日 (月)

開演13:30～15:50 (開場受付12:30～13:20)

参加無料

➤ 場所 三次市民ホールきりり 大ホール (三次市三次町111番地1)

➤ 参加申込

申込先 最寄りの農協等を経由して県(畜産課)に申し込んでください

締切日 令和3年12月28日(火) (農協等への申込期限)

定員 十分な席を確保しています。(収容人数約1,000名)



広島県が発表する新型コロナウイルス感染症の拡大防止ステージが、令和4年1月4日時点で『ステージⅣ』になった場合は中止します。

➤ お問い合わせ 広島県農林水産局畜産課 Tel (082) 513-3598

E-Mail nouchikusan@pref.hiroshima.lg.jp

広島県HPはこちらから→

